

BRAND NEW PRODUCTS

-新商品のご紹介-

オリジナル布ガーランド・連結旗



お店のイベントなどで、大活躍のアイテム。運動会、誕生日会、パーティーなどにもオススメです！



旗のカチは3種から選べます！

イベントなど、活躍の場は多彩！華やかさを演出！

1月、「大判プリントの達人」より、オリジナルデザインで製作可能な“布ガーランド・連結旗”をリリース。一式5枚付けから小ロットで製作できます。旗の形状は三角形、ホームベース型など、3種用意。素材は軽量でたたみやすいポンジで、水に濡れても乾きやすいのも特徴のひとつ。追加料金で、防災仕様も可能。詳細は、Webページをご覧ください！

ポスター印刷やパネル製作、パナースタンド製作ならおまかせ！

大判プリントの達人 “大判プリントの達人”
LARGE FORMAT PRINT EXPERT で検索



<https://obanprint110.com>

シールドPRO EXTRA ~フルプロテクトスリーブ対応~

人気の“シールドPRO”のフルプロテクトスリーブ対応版！

「メニューブックの達人 楽天市場店」より、フルプロテクトスリーブがそのままハまる、トレーディングカード用ディスプレイケース“シールドPRO EXTRA”が新登場。角度によって表情の違う、オーロラ色のアクリルを使用しています。また、3層構造の重厚感のある設計で、安心の国内自社生産の商品です。詳細は、Webサイトでご確認ください。



幅71×高さ96×厚さ3mm以内のフルプロテクトスリーブ対応



お部屋のインテリアにも◎

“メニューブックの達人 ヤフー店”
“Amazon”
“au PAY マーケット”でも
販売中！
1個 1780円(税込)

既製品メニューブックから飛沫対策商品まで！

飲食店のメニューブック専門店
メニューブックの達人
楽天市場店

“メニューブックの達人 楽天市場店”
で検索



<https://www.rakuten.co.jp/menubook-tatsujin>

社長オススメの
今月の1冊



歴史はねじまげられない

経営者である大先輩の講演で、本書を引用してリーダーシップのお話をされていたのがきっかけで購読。新聞・週刊誌・雑誌などの媒体に上坂氏が書いたものをまとめた書籍で、すでに絶版しており、中古本で購入しました。戦後50年が経過した当時、過去の戦争で日本が何をしてきたのか、戦後に何が起きていたのか、そこに対する総力取材をもとにした上坂氏の考え方は、今の日本にとっても重要なことだと感じました。また、本質的には社会の構造は何も変わっていないことにも気づきました。著者は2009年に亡くなられておりますが、著書は多数あり、他の作品も読んでみたいですね。

BOOK
DATA

講談社(出版)/上坂 冬子(著)/1997.1.22(発売)/2120円(税込) ※Amazon価格
歴史はねじまげられない Amazon

検索



編集後記

熱戦が繰り広げられた北京冬季オリンピックが閉幕し、少し寂しい気持ちになりましたが、Jリーグが開幕、そして今月には選抜高校野球に、プロ野球の開幕と、いよいよ球春到来だと思えば、ワクワク

する今日この頃です。今回、特集でご紹介したSDGsへの取り組みの「IBLIV」(アイビリーブ)ですが、今後も継続してアップデートしてまいります。続報をお楽しみにお待ちしております。(広報:田淵)

■名古屋オフィス
愛知県名古屋市中村区名駅5-21-8 船入ビル2F・3F
TEL.052-446-5544(管理本部)

■PCセンター
名古屋市天白区植田南2-805
TEL.052-805-5611

■植田工場
名古屋市天白区植田南2-1403

■東京オフィス
東京都品川区東五反田1-21-9 ウィスタリア東五反田ビル9F
TEL.03-6420-0896

■栄生工場/TIEZ studio(タイズスタジオ)
名古屋市西区栄生3-2-19
TEL.052-526-0991(タイズスタジオ)

■植田第2工場(植田セカンド)
名古屋市天白区植田南2-1508

CRM
Customer Relationship Management
www.crm-net.com

CRM NEWS LETTER 3

March 2022
Volume 43

2022年3月7日発行

理不尽を超越する

東京オリンピックから半年後という短い間隔での開催となった北京オリンピックが閉幕しました。無観客だったり、メディアの情報発信量からしても盛り上がり欠けたオリンピックだと言われていますが、スポーツ観戦が大好きな私はテレビ観戦で盛り上がっていました。選手の熱戦は見る者に感動を与えてくれるものですが、それとは別に不可解な判定が、連日大きく取り沙汰されたオリンピックでした。高梨沙羅選手ら5名のスーツ規定違反による失格、スノーボード女子パラレル大回転決勝の竹内智香選手の進路妨害による失格、ショートトラック準決勝で1位でゴールした韓国の選手が、レース後の審議で失格になりました。どれも理不尽としか言いようのない失格判定です。なかでも、スキージャンプの高梨選手は、1回目の大ジャンプのあとに抜き取り検査で失格となりました。普通に考えて、「飛ぶ前に検査してくれよ」と思います。そうすれば、5名も失格になることはなかったかと思えます。高梨選手は、自身のSNSで《私の失格のせいで、みんなの人生を変えてしまったことは変わりようのない事実です》と綴っており、本人の気持ちを考えると胸が張り裂けそうになります。



株式会社シー・アール・エム
代表取締役

松村 祐輔

考えてみれば、世の中な理不尽なことばかりです。コロナ対策が世界先進国から後手後手の日本政府の対応や、仕事においても自分のミスではないのにお客様から激しく叱責をされたり、自分の考えと対局にある意見を押し付けられたり、例をあげればキリがありません。こうした理不尽とどう付き合っていくのか？これは、すべてのビジネスパーソンにとって大切なテーマだと思います。理不尽を感じる時、前提として「自分は絶対に正しい」というバイアスがかかっているということです。メタ認知し、俯瞰して物事をとらえることができれば、「まあ、そんな考え方もあるよね」と受け流すことができます。しかし、自分に直接影響があることに対しては、途端に自己防衛反応が働いてしまいます。人はそんなに強くありません。誰も、「自分の主張を認めてほしい」、「理解してほしい」という承認欲求があります。よほど意識しない限り、この欲望はムクムク湧いてくるわけです。

承認欲求があることは、人として自然なことではありますが、「自分は絶対に正しい」というバイアスがかかればかかるほど、この感情を満たすために必死になってしまい、最終的には自分の心が疲弊していきます。そうならないためには、「そもそも、世の中は理不尽なことばかりだ」という、どうしようもない現実を受け入れることです。これは決してネガティブでも、あきらめでも、妥協でもありません。“ありのままの現実、つまり世の中には色々な人がいて、色々な意見あって、それらは立場によっても様々であって、常に自分でコントロールして物事を進めらるわけでない”と思うことです。“みんな違って、みんないい”のです。理不尽に耐えるのではなく、ありのままを受け入れる。こうした思考になれば、きっと違う景色が見えてくると思います。

抗議より提案を

高梨沙羅選手が失格になったことについて、全日本スキー連盟から国際スキー連盟に対し、“抗議”ではなく、検査方法に関する“提案”をまとめて提出すると発表がありました。このことに対して、SNSでは「しっかり抗議しろ」や「だから、日本人はナメられる」などの声があがりましたが、私はこの“提案”に賛成です。文句を言っても雨はやまないわけで、これからのあり方について、提案することがスキージャンプという競技の魅力をあげていくことだと思います。仕事でも理不尽なことは、日々起こります。まず受け入れて、必要に応じて「提案」していきましょう。

追伸、娘が大学3年時を休学し、先月韓国へ1年間の語学留学に旅立ちました。コロナ禍での海外留学は大学からも反対され、いくつものハードルがありましたが、「できる方法を考える」ことで、道は開けました。娘ではありますが、ナイスチャレンジでした。

CRMのSDGsへの取り組み アール・ブリュットグッズの 企画・販売サイト「IBLIV」を開設

アイビリーヴ

1月、アール・ブリュットグッズの企画・販売サイト「IBLIV」(アイビリーヴ)がオープン。
今回は「IBLIV」をメインに、CRMのSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを紹介します。

★ ミッションは「アール・ブリュット×グッズ」でサステナブル

アール・ブリュットグッズの企画・販売サイト「IBLIV」は、CRMがパートナーシップを結んだ施設・団体に所属する障がいをもつアーティストの作品・アートをグッズ化し、販売しているサイトです。「アール・ブリュット×グッズ」でサステナブルをミッションに掲げ、これまで展示会場やネットをとおして作品・アートを鑑賞していたところを、グッズ化することにより、皆さまの日常生活のなかで、様々な表現に触れる機会を増やしていただけることを願い、サイトをオープンしました。なお、グッズのご購入による収益の一部は、アーティストが所属する施設・団体の活動にご活用いただきます。

※アール・ブリュットとは、専門的な美術教育を受けていない人が、湧き上がる衝動に従って自分のために制作するアートを意味する美術用語で、フランスの画家「ジャン・デュビュッフェ」が提唱した概念です



★ ショップ名の由来

「IBLIV」とは「I BELIEVE」(アイビリーヴ)の日本語訳「信じている」より、「E」を「Endow(寄付)」の象徴として取り除いたものです。障がい者アートのグッズをご購入いただくことが、いつか「寄付ではなく、日常的に」なることを願い、名付けました。

「IB」はIVY西洋木蔭、花言葉は「誠実」。「LIV」はLIF古ノルド語で「生命」を意味します。



★ 商品ラインアップ

商品は缶バッジ(円形・四角形)、アクリルキーホルダー、コースター、キャンバスパネル、ミニキャンバスパネルなど、約100点を販売中。現在も、グッズ点数の拡大を行っています。



詳細は、サイトをぜひご覧ください！
グッズをとおして、個性あふれる才能をお届けしています！
<https://shop.iblivart.com>



缶バッジ

コースター

ノベルティグッズから始められるSDGs。

「IBLIV」の商品購入もSDGs活動につながりますので、ぜひご検討ください。
もちろん、法人様向けの大ロットも対応可能。お気軽に営業担当までご相談ください。

★ その他の取り組み

コースター、缶マグネットほか、販売グッズを製造！
「ヨナワールド×ARTLAB(BLUE+) なんでも☆クリスマス!展 vol.7」

昨年12月「あいちアール・ブリュット」のパートナーシップ事業で、名古屋市千種区にあるポーダレスクラフト・アートギャラリー+カフェの「tane(タネ)」主催で行われた「ヨナワールド×ARTLAB(BLUE+) なんでも☆クリスマス!展 vol.7」において、販売グッズを製造しました。販売した収益は障がい者の活動に、ご活用いただいています。



★ ★ まだまだあります！
SDGsへの取り組み！

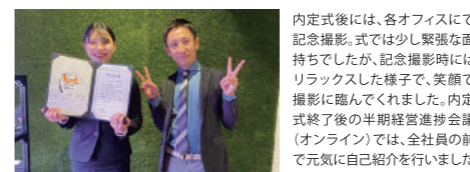
SDGsの目標達成に向け、CRMでは他にも様々な活動を進めています。
これまでの取り組みはこちらのページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください！



CRM NAVI

CRMの出来事や社内の様子をご紹介！
CRMの大きな社内行事から小さな出来事まで、
日々の様子をお伝えします

2022年入社 内定式



内定式には、各オフィスにて記念撮影。式では少し緊張な面持ちでしたが、記念撮影時にはリラックスした様子で、笑顔で撮影に臨んでくれました。内定式終了後の半期経営進捗会議(オンライン)では、全社員の前で元気に自己紹介を行いました

1月、名古屋オフィス&東京オフィスで内定式を開催

1月15日、前号の「CRMニュースレター」で紹介した「第20期 半期経営進捗会議」の開催に先立ちまして、名古屋オフィスと東京オフィスをオンラインでつなぎ、2022年入社の内定式を行いました。名古屋オフィスには高卒の内定者4名、東京オフィスには大卒の内定者1名が参加。式では内定証書の授与、自己紹介が行われ、松村社長より「4月1日はワクワク感を持って迎えて、安心して入社してください」と、祝辞が贈られました。今回も内定証書は自社オリジナル。社長はじめ、内定者の配属先の先輩社員一同による寄せ書きを添えたもので、CRMらしさを演出しています。なお、すでに10月の内定式を終えた1名を加えた、大卒2名はアルバイトインターンとして勤務中。4月1日には、計6名の新入社員が入社します。CRMスタッフ一同、皆さんの入社を心よりお待ちしております。

新入社員紹介



2021.04 新卒入社
プロダクトフォーム部 本社工場チーム(PCセンター)
岡村 咲良 Sakura Okamura

- Q. 入社前の会社や仕事のイメージは？**
A. 自由な働き方で、アットホームな雰囲気でのイメージでした。
- Q. そのイメージは、入社して実際にいかがでしたか？**
A. 皆さんいい方ばかりで、とても働きやすいです！
- Q. 現在の主な仕事内容は？**
A. 「アクリルグッズの達人」の手配業務をしています。
- Q. 最後に抱負をひと言！**
A. アクリル業務をひとりでもまわしていけるように頑張ります！

2021.04 新卒入社
プロダクトフォーム部 本社工場チーム(PCセンター)
山田 梨乃 Rino Yamada

- Q. 入社前、仕事のイメージは？**
A. 明るい雰囲気の会社だと思いました。
- Q. そのイメージは、入社して実際にいかがでしたか？**
A. イメージと変わらず、明るく優しい先輩方ばかりで、楽しくお仕事できています。
- Q. 現在の主な仕事内容は？**
A. 各種販促物などの商品をオンデマンドで出力をしています。
- Q. 最後に抱負をひと言！**
A. もっと色々なことを吸収して、スキルアップできるよう頑張ります！

